

単
元
名

ユニバーサル商品を世界に売り出そう

教科書出版社名 (東京書籍)

○ 中学校(1 年) 教科等 (外国語)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

- ・世界中にある課題を発見し、それを解決できる商品を考え、相手に説明する力

(学校図書館等の活用で付けたい力)

- ・必要な情報を素早く見つけ出し、生徒同士で共有し、お互いの知識を深めあう力

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…目的に応じて資料やタブレット端末で調べ、必要な情報を集める。
- 整理・分析…課題を解決するために調べたことをワークシートに書き、自分の考えを整理する。
- まとめ・表現・発信…各自で商品紹介のスライドを作成し、英語で紹介しあう

○ 学習の展開 (全8時間) ※ 学校図書館等を活用する時間に☆印

第1次(本時)☆	・「なぜ英語を学習するのか？」について考え、未来に着目し、英語学習の動機付けを行う。 ・今後、外貨を稼いでいくために、ユニバーサルデザイン商品を作り出し世界発信を目標とするための基礎知識を習得する。
第2・3・4次☆	・世界にある課題の把握→解決のためのユニバーサルデザイン商品の考察
第5次☆	・発表に向けてスライドを作成 ・英語での説明を作っていく。
第6・7・8次☆	・発表練習をグループ内でし合う。 ・最終、全員の前で発表する。

(本時 1 / 8 時)

○ 学校図書館等活用（本時）の学習

本時のねらい

- ・「なぜ英語を学習するのか？」を考え、「アウトプットすることを前提としてインプット」ができるようにする。
- ・世界の課題解決に向けて、情報収集の方法を学ぶ。

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	1.なぜ英語を学習するのか？ ・「なぜ英語を学習するのか」という問いを、人口減少という避けられない未来から逆算して考える。 - 英語話者数の推移や今後の課題などを、簡単なクイズも混ぜながら確認をする。	・隣の席、またはグループ内で細かな交流の場を設ける。
5	2. 人を助けるためのユニバーサルデザインの商品として、それを広く世界へ紹介するためのパワーポイントを作成する。 ・世界中にある課題解決のために、ユニバーサルデザイン商品を世界に広げること为目标に、本時は基本情報の収集に努める。	
35	3. 調べ学習開始 ・世界にはどんな課題があるのか、隣の席の生徒と教えあう。 ・ユニバーサルデザイン商品にはどんなものがあるか隣の生徒と教えあう。	本・タブレットなどからユニバーサルデザインに関する基本情報を収集する。
5	4. まとめとふりかえり	

図書館活用
ポイント

